

車いすを長く安全に使用し、生活の質の向上へ！


- **実施団体:**
NPO法人「飛んでけ！車いす」の会
- **相手国:**
インドネシア (バリ Senang Hati財団)
- **協力内容:**
 - 車いす整備・修理講座の開催 (基礎/応用編)。
 - 日本式「整理・整頓」講座の開催。
 - 「整備・修理」「整理・整頓」のマニュアルや教材の作成。
 - 受講者の中から現地トレーナー候補生を育成。
- **これまでの取り組み、背景:**
 - バリ島では海外等の支援者が障がい者に車いすを提供しているが、故障した車いすを整備・修理できる人材や場所は少なく、車いす利用者は故障したまま危険な状態で使用せざるを得なかった。このような状況では生活全般に支障をきたし、障がい者が社会に出る機会を失う要因となっていた。
 - 実施団体は20年以上に亘り海外の障がい者の自立を目的に中古の車いすを集め、修理をして途上国に届ける活動を実施。これまで81カ国に約3,000台以上もの車いすを届けている。



事業の成果

- 課題①** 障がい者や周囲の関係者が車いすを自分で整備・修理できない。
- 成果①** 整備・修理の技術を身につけるための講座開講。
→自分たちで日常の整備や故障時の修理が可能になり、講座実施前と比較して整備・修理件数が2倍以上に増加！
- 課題②** 車いすを整備・修理するためのマニュアルや教材が無い。
- 成果②** レベルごとに分かれたマニュアル (インドネシア語) を作成。動画教材も作成し、動画共有サイトで公開、誰でも手軽に視聴できるように！

地域社会への波及効果

- 
従来からの活動を発展させ、地域のNPO法人の活性化へ！
 - 2016年度のJICA基金活用事業に続き、草の根技術協力事業を活用し事業規模を拡大することで、これまでの活動から、整備修理技術の移転という更に一歩踏み込んだ取り組みを行い、NPOとしての活動を発展させた。
 - 本活動はメディアで複数回紹介されるなど広く注目を集め、地域で活躍するNPOの活性化にも繋がっている。